

東北大学選鉱製錬研究所創立30周年記念事業について

journal or publication title	Bulletin of the Research Institute of Mineral Dressing and Metallurgy, Tohoku University
volume	27
number	1/2
page range	261-262
year	1972-03-25
URL	http://hdl.handle.net/10097/00114106

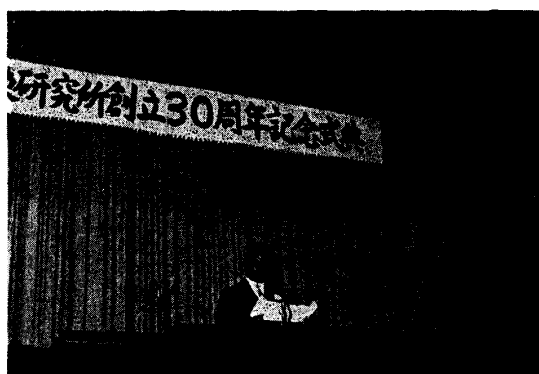
東北大学選鉱製錬研究所創立30周年記念事業について

選鉱製錬研究所が重要金属の選鉱および製錬に関する学理ならびに応用の研究を目的とし、国内において鉱産資源の最も豊富な東北地方をえらび、本学に付置され官制が公布されたのは昭和16年3月26日である。

以来歴代所長ならびに全職員の絶えまない努力、研鑽により研究部門も12部門を数え、約100名の定員を擁するわが国唯一の大学付置の選鉱製錬に関する研究所として認められるに至った。

その間、片平地区に研究所を統合しようとする本学の総合整備計画に基づき、昭和43年3月長町地区より現在の片平地区に移転を完了した。

移転完了後、当所の30周年記念を行なってはとの話しが話題にのぼりはじめた。本所の創立は戦時下の物資欠乏の時期に行なわれたが、現在においても資源の有効利用は重要な課題の一つであり、また公害などを対象とする環境工学に対処することも不可欠の課題である。この時期に当所のもつ使命を再認識し、今後の発展の礎石とすることは大きな意義をもつものとの観点に立ち、斎藤恒三教授を実行委員長に昭和46年4月、以下の30周年記念行事の実施が決定された。



- (1) 記念式典，祝賀会
- (2) 特別功労者，永年勤続者表彰
- (3) 記念講演
- (4) 選研彙報記念号発刊
- (5) 講演会
 - (i) 非鉄金属製錬研究懇談会
 - (ii) 鉄鋼製錬に関する講演会



昭和46年11月4日（木）午前8時より記念行事の皮切りとして、非鉄金属製錬研究懇談会が約99名の出席の下に、きわめて有意義な研究討論が行なわれた。



翌11月5日（金）午前10時30分より絶好の秋空のもと、東北大学記念講堂ならびに松下会館において約300名の出席を得て、横山事務長司会で記念式典が行なわれ、特別功労者ならびに永年勤続者の表彰を含め、滞りなく終了した。引き続き祝賀会が和気あいあいのうちに開かれ、参会者それぞれ旧交を暖め楽しい一時をすごした。午後開催予定の茅誠司、向坊隆両氏による記念講演会はやむを得ない事情で中止せざるを得なかったことはまことに遺憾であった。

さらに6日（土）午前8時30分より当所講堂で鉄鋼製錬に関する講演会が約100名の出席をえて終日にわたり熱心な討議が行なわれ、盛会裡に終了し、3日間にわたる記念行事は一部を除いて計画通りに遂行された。

本記念行事の実施にあたってはかなりの費用を必要とし、校費のみでは賄いきれず募金委員会を設置し、関連諸会社に寄附を依頼したところ、とくに経済状態悪化の時勢にもかかわらず、目標額に達し記念行事を滞りなく行なうことができたことに対し、関連諸会社に深謝の意を表する。また全職員の労をいとわない協力により本行事を終えることができた。厚く感謝する。

（30周年記念行事实行委員会）